

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 元年 6 月 7 日

秋田県知事 殿

提出者

住 所 秋田県大仙市協和船岡字森/越12-3

氏 名 東北藤村クレスト株式会社
取締役工場長 進藤一雄

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 018-892-2012

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東北藤村ヒューム管株式会社 (令和元年5月1日より商号が東北藤村クレスト株式会社に変更になりました)
事業場の所在地	秋田県大仙市協和船岡字森/越12-3
計画期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	338,184万円
③ 従業員数	30人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	残コン・不良製品・コンクリート舗装ガラ→産業廃棄物処理業者



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長

|

品質管理課長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	1,390 t	1.34 t
	(これまでに実施した取組)		
	・製造時に発生する不良の削減 ・返品不良の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	排出量	1,100 t	1 t
	(今後実施する予定の取組)		
	自社工場構内通路のコンクリート舗装改修の為、コンクリートガラが大量に発生する。当初、令和元年度で終わる予定が令和2年まで延びた為、令和3年度からは300t以下になる見込み。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類・木くず・ガラスくず等
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類・木くず・ガラスくず等

(第2面) 別紙

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長

|

品質管理課長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	12.48 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	排出量	12 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類・木くず・ガラスくず等
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類・木くず・ガラスくず等

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面) 別紙

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,390 t	1.34 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への処理委託量	1,390 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		

(第4面) 別紙

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成30年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全処理委託量	12.48 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	t
	再生利用業者への処理委託量	12.48 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず等	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,100 t	1 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	— t
	再生利用業者への 処理委託量	1,100 t	— t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	全 処 理 委 託 量	12 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	12 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			